

Ⅳ ご み 処 理

1 家庭ごみ

(1) 燃やせるごみ・燃やせないごみ

昭和 49 年 (1974 年) 4 月	「燃やせるごみ」、「燃やせないごみ」分別収集モデル地区の開始
昭和 50 年 (1975 年) 11 月	分別収集の開始
平成 7 年 (1995 年) 8 月	市内全域の分別収集開始
平成 10 年 (1998 年) 11 月	市内中心 16 町の委託収集開始
平成 22 年 (2010 年) 4 月	市内全域の民間委託収集開始
平成 25 年 (2013 年) 7 月	家庭ごみの有料化開始 「燃やせないごみ」から「有害ごみ」を分離し無料回収
平成 30 年 (2018 年) 10 月	有害ごみの収集日を「燃やせるごみ」の日に変更 おむつ類を「燃やせるごみ」の日に分離し無料回収

(2) 資源物

① 缶・びん・ペットボトル・紙パック

平成 9 年 (1997 年) 4 月	容器包装リサイクル法の施行に伴い、「缶・びん」、「紙パック」の収集の開始 (月 1 回) 苫小牧市資源化センター運用開始
平成 10 年 (1998 年) 11 月	市内全域の民間委託収集開始
平成 13 年 (2001 年) 4 月	「ペットボトル」の収集を開始 資源物の収集を月 2 回に変更
平成 29 年 (2017 年) 4 月	苫小牧市資源化センターを廃止 収集後の中間処理を民間へ委託
平成 30 年 (2018 年) 10 月	「缶」と「びん」を別袋で回収に変更

② プラスチック類

平成 22 年 (2010 年) 4 月	市内全域の「プラスチック類」分別収集開始 (週 1 回) 収集後の中間処理は民間へ委託
平成 23 年 (2011 年) 4 月	一部地区の民間委託収集開始
平成 26 年 (2014 年) 4 月	市内全域の民間委託収集開始

③ 紙類

平成 25 年 (2013 年) 7 月	市内全域の「紙類」分別収集開始 (月 2 回) 収集後の資源化処理は民間施設へ搬入し資源化
平成 28 年 (2016 年) 7 月	月に第 5 週がある場合は 3 回収集開始

④ せん定枝

平成 25 年 (2013 年) 7 月	電話申込による「せん定枝」無料収集の開始 収集後の資源化処理は民間施設へ搬入して資源化
平成 28 年 (2016 年) 7 月	電話受付を民間へ委託

(3) 大型ごみ

昭和 46 年 (1971 年) 9 月	「大型ごみ」分別収集開始 (年 2 回)
昭和 50 年 (1975 年) 4 月	収集回数を年 3 回へ変更
昭和 63 年 (1988 年) 1 月	電話による随時申込、回収へ変更
平成 14 年 (2002 年) 1 月	ステッカー方式による有料化の開始 電話受付、収集業務を民間へ委託

(4) 家庭ごみ有料化と新たな分別回収

① 経緯

本市では、昭和 44 年以降、家庭から排出される一般廃棄物については、無料で収集・処理してまいりました。

しかし、循環型社会を構築するために、更なるごみ減量とリサイクル推進に取り組む必要性が高まり、平成 22 年 3 月に策定した一般廃棄物処理基本計画の中で、ごみ減量施策の一つとして、家庭ごみの有料化を掲げ、平成 22 年 9 月に苫小牧市廃棄物減量等推進審議会（以下「審議会」という。）に対し「家庭ごみ有料化について」を諮問し、平成 23 年 3 月に「家庭ごみを有料化し、大幅なごみ減量を目指すべき」との答申を受け、「ごみ減量とリサイクル推進に対する基本的な考え方」、及び「家庭ごみ有料化実施計画（案）」について 7 月から 10 月の間に行った市民説明会やパブリックコメント等を通じて市民から直接意見をいただきました。

市民からの意見等を踏まえ、平成 23 年 11 月に「家庭ごみ有料化実施計画」を策定し、平成 24 年 2 月に「苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」を一部改正し、平成 25 年 7 月から家庭ごみの有料化を開始しました。

また、家庭ごみの有料化と併せて、紙類とせん定枝の資源回収を開始しています。

なお、紙類については、「リサイクル推進」、「分別の容易さ」、「分別拡大費用」、「紙類市内循環システムの構築」という 4 つの観点から検討した結果、回収した紙類を全て固形燃料にリサイクルしています。せん定枝については、木質チップや固形燃料などにリサイクルしています。

② 対象と手数料

有料化の対象となるごみは、一般家庭から出される「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」で、指定ごみ袋容量 10 当たり 2 円となっています。

また、最大容量 40ℓ の指定ごみ袋に入らない全ての品目が大型ごみとなります。

苫小牧市有料指定ごみ袋				
サイズ	1 枚単価	セット価格		
5ℓ	10 円	1 袋	10 枚入り	100 円
10ℓ	20 円	1 袋	10 枚入り	200 円
20ℓ	40 円	1 袋	10 枚入り	400 円
30ℓ	60 円	1 袋	5 枚入り	300 円
40ℓ	80 円	1 袋	5 枚入り	400 円



大 型 ご み	
区 分	手数料の額
・最大容量（40ℓ）の苫小牧市有料指定ごみ袋に入らないもの ・最大の辺の長さ又は径が 1 m 以下のもの	300 円/点
・最大の辺の長さ又は径が 1 m を超え 2 m 以下のもの	600 円/点

③ 減免等支援事業

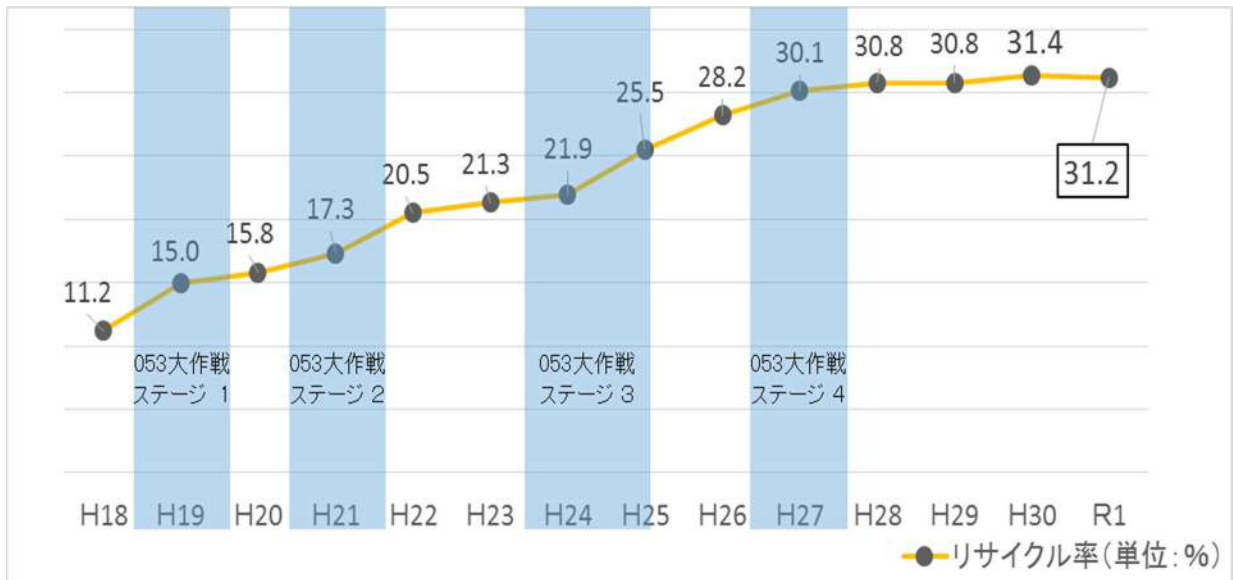
自然災害や火災等に伴い発生する罹災ごみは、手数料又は費用の全部又は一部を免除することができます。また、環境美化活動で集められたごみについては、ボランティア清掃用ごみ袋を無償で配布しています。さらに、おむつ類を利用される方の負担軽減を目的として、平成30年10月からおむつ類の無料収集を開始しています。

(燃やせるごみの日に透明又は半透明な別袋で排出)

④ 家庭ごみ有料化以降の展開と経過

有料化する際の市民説明会をはじめ、053大作戦や各種イベント、出前講座など、これまで様々な周知活動を実施した結果、市民のごみ分別・適正排出に対する意識の向上が図られました。平成25年7月からの有料化以降は、家庭ごみ排出量は大幅に減量し、令和元年度には家庭ごみの排出量は3万4,340トン、1人1日当たりのごみ量は550グラム、リサイクル率は31.2%となりました。

⑤ 本市のリサイクル率の推移



⑥ 本市のごみ排出量及び1人1日当たりの排出量の推移



令和元年度 市民1人1日当たりの家庭ごみ排出量 550g

(5) ふれあい収集

平成 21 年 4 月から、ごみの排出が困難な一人暮らしの高齢者や障がい者等を対象に、市職員が自宅を訪問して直接ごみを収集する「ふれあい収集」を実施しています。

なお、収集する際には安否確認の声掛けを行うなど、ふくし的な観点も備えた事業であります。

世帯数	1,577 世帯 (うち 利用 : 687 世帯 中止 : 890 世帯)
-----	--

(6) 家庭ごみ戸別収集モデル事業導入

戸別収集モデル事業は、家庭ごみの適正な分別排出の促進及び高齢者や障がい者等のごみ出し負担軽減を目的とし、平成 28 年 7 月から一部区域で試行しています。平成 31 年 2 月、モデル事業を検証した結果、「当面はステーション収集を軸に一部戸別収集を併用する」としています。その後、モデル地区の住民と協議し、狭隘道路にあるごみ容器のステーション化やごみ容器の設置場所を改めて周知するなど、収集作業の効率化や負担軽減に資するよう改善に取り組んでいるところであります。

戸別収集は、今後の超高齢社会におけるごみ出し困難者の対策として、その必要性は更に高まるものと考えています。本市が目指す「ふくしのまちづくり」に相応しい苦小牧方式のごみ収集方法を見出すべく、戸別収集の全市拡大を選択肢の一つとして、様々な検討を継続していきます。

ただし、現在はコロナ禍の影響等により、戸別収集の全市拡大を一時凍結しています。

(7) 事業系一般廃棄物

平成 12 年 7 月に条例を改正し、事業系一般廃棄物については全て事業者の排出責任となりました。事業系一般廃棄物の排出は、事業者が自ら処理施設に搬入する方法、または本市の一般廃棄物収集運搬業許可業者に委託する方法の何れかとなりました。なお、平成 25 年 7 月、ごみ処理手数料を 220 円/20 kg から 140 円/10 kg へ改定しています。

(8) 広域処理による受け入れ

本市東側に隣接する旧早来町・厚真町・旧追分町の三町は、従来から一部事務組合を構成しごみ処理を実施していましたが、ダイオキシンなど国の環境基準が強化されたことに伴い、平成 11 年 8 月、三町のごみを本市で広域的に処理するよう要請されました。

本市の施設におけるダイオキシン対策は適正であり、かつ充分なごみ処理能力を有していること、さらには北海道からの広域処理推進要請の観点から、地域住民の合意を得て、平成 13 年 1 月に協定書に調印、平成 13 年 7 月から東胆振三町の広域処理を開始しました。

なお、旧早来町と旧追分町は市町村合併し、現在は安平町となっています。

(9) ごみの分別区分

家 庭 系 ご み	燃やせるごみ	塵芥類等の可燃性ごみ。有料指定ごみ袋で排出。週2回の収集。 搬入先は沼ノ端クリーンセンター。
	有害ごみ	スプレー缶、ライター、電子たばこ、水銀式体温計、電池等。透明又は半透明の袋で排出。週2回（燃やせるごみと同じ日）の収集。 電池は別袋の透明又は半透明の袋で排出。 搬入先は沼ノ端クリーンセンター。
	おむつ類	紙おむつ、布おむつ、尿取りパッド、お尻拭き等。透明又は半透明の袋で排出。週2回（燃やせるごみと同じ日）の収集。 搬入先は沼ノ端クリーンセンター。
	燃やせないごみ	金属類等の不燃物、破碎不適物。有料指定ごみ袋で排出。月1回の収集。 搬入先は沼ノ端クリーンセンター。
	資源物	缶、びん、ペットボトル、紙パックを、それぞれの品目ごとに透明又は半透明の袋で排出。 紙パックはひもで縛り、袋に入れず排出。月2回の収集。 搬入先は明円工業㈱。
		プラスチック製容器包装及びプラスチック単体。透明又は半透明の袋で排出。週1回の収集。 搬入先は明円工業㈱。
		紙類。（主要古紙、紙パック、銀色加工されている紙など除く紙） 透明又は半透明の袋で排出。月2回又は第5週の収集日がある場合は、月3回の収集。 搬入先は㈱苫小牧清掃社。
	大型ごみ	家庭から出される電気製品（家電4品目以外）や、家具類のうち、最も大きい有料指定ごみ袋（40ℓ）に収めることができず、かつ、重量が100kg未満のものを電話申込により有料で戸別収集。 最大の辺の長さ又は径が1m以下のものは300円。 最大の辺の長さ又は径が1mを超え2m以下のものは600円。 搬入先は沼ノ端クリーンセンター。
	せん定枝	家庭の樹木をせん定した枝で、1m以下に切り揃え、1m以内のひもで束にしたものを電話申込により無料で戸別収集。 搬入先は㈱イワクラ。
事業系一般廃棄物	排出者自ら又は本市の一般廃棄物収集運搬許可業者により、処理施設へ搬入。	

2 令和元年度 ごみ収集・処理実績

(1) ごみ搬入量実績

(単位：t)

	一 般 廃 棄 物																							直 接 搬 入 量	合 計	広 域 小 計	
	燃やせるごみ				燃やせないごみ				大 型 ご み		資 源 物			プ ラ ス チ ッ ク 類			紙 類		せ ん 定 枝		小 計						
	直 営	委 託	許 可	計	直 営	委 託	許 可	計	委 託	許 可	計	委 託	許 可	計	直 営	委 託	許 可	計	委 託	計	直 営	委 託	許 可				
																											計
R1	181	23,651	19,937	43,769	3	1,163	1,131	2,297	269	288	557	2,335	139	2,474		2,879	9	2,888	1,882	95	184	32,274	21,504	53,962	2,530	56,493	2,669
前年比%	△ 1.3	1.7	△ 2.8	△ 0.4	△ 87.1	△ 14.5	△ 12.3	△ 14.1	2.0	16.2	8.9	1.1	10.9	1.6		2.0	△ 31.3	1.8	△ 1.8	△ 17.0	△ 11.9	0.7	△ 3.1	△ 0.9	10.9	△ 0.4	△ 3.0
H30	183	23,259	20,518	43,960	26	1,360	1,290	2,676	264	248	512	2,309	125	2,434		2,823	13	2,836	1,917	115	209	32,047	22,194	54,450	2,282	56,733	2,752
前年比%	3.4	△ 0.1	△ 2.3	△ 1.1	△ 3.7	△ 0.7	3.7	1.4	△ 6.4	7.8	0.0	△ 8.2	17.9	△ 7.1		1.3	550.0	1.6	△ 4.8	△ 15.4	2.5	△ 1.0	△ 1.7	△ 1.3	△ 8.6	△ 1.6	5.8
H29	177	23,280	20,996	44,453	27	1,369	1,244	2,640	282	230	512	2,515	106	2,621		2,788	2	2,790	2,014	136	204	32,384	22,578	55,166	2,497	57,663	2,600
前年比%	10.6	0.2	1.5	0.9	17.4	△ 2.1	2.2	0.1	2.9	42.0	17.4	6.3	15.2	6.7		△ 0.1		0.0	△ 3.7	△ 2.2	11.5	0.3	1.9	1.0	9.1	1.3	0.1
H28	160	23,231	20,682	44,073	23	1,398	1,217	2,637	274	162	436	2,365	92	2,457		2,790		2,790	2,091	139	183	32,287	22,153	54,623	2,289	56,911	2,598
前年比%	13.5	△ 3.5	△ 3.4	△ 3.4	15.0	△ 3.9	5.0	0.1	△ 5.8	△ 5.8	△ 5.8	△ 7.0	△ 3.2	△ 6.9		0.4		0.4	3.7	△ 6.7	13.7	△ 3.1	△ 3.0	△ 3.0	△ 5.1	△ 3.1	△ 0.8
H27	141	24,081	21,411	45,633	20	1,455	1,159	2,634	291	172	463	2,543	95	2,638		2,779		2,779	2,017	149	161	33,315	22,837	56,313	2,412	58,725	2,620

(2) ごみ処理量実績

(単位：t)

	ご み 処 理 量										資 源 化 量														リ サ イ ク ル 率 (%) ※6							
	直 接 焼 却 量	直 接 立 処 分 場	焼却以外の中間処理量				合計	直 接 資 源 化 量 ※2						集 団 回 収 量				中 間 処 理 後 再 生 利 用 量						合計								
			リノ準 クラシオン センター ※1	資 源 化 センター ※1	民間中間 処理施設	計		紙類	金属類	びん類	ペット ボトル	プ ラ ス チ ッ ク 類	その他 ※3	紙類	金属類	びん類	その他 ※4	溶ノ類 (リノセン)	民間中間処理施設 ※5				行政回収分(民間再生事業者)									
																			金属類	紙バック	金属類	びん類	ペット ボトル			容リ プラ	その他 プラ	紙類	せん定 枝	乾電池		
R1	44,605	1,034	3,494		7,358	10,853	56,493	8,791	78	13	105	81	1,597	10,666	4,736	111	31	9	4,888	688	30	409	666	489	2,506	140	1,882	95	46	6,950	22,503	31.2
前年比%	△ 0.4	△ 11.5	0.6		0.6	△ 0.4	2.7	7.9	△ 34.4	18.5	23.1	△ 0.3	2.5	△ 8.9	△ 12.1	20.8	12.8	△ 8.8	△ 3.3	△ 3.8	△ 0.6	△ 4.8	2.6	0.5	△ 8.5	△ 1.8	△ 17.0	1,040.0	△ 0.9	△ 1.2	△ 0.6	
H30	44,777	1,169	3,474		7,313	10,787	56,733	8,560	72	20	89	66	1,602	10,409	5,198	126	26	8	5,358	712	31	411	699	477	2,493	153	1,917	115	4	7,012	22,779	31.4
前年比%	△ 1.6	3.4	1.3		△ 3.4	△ 2.0	△ 1.6	8.9	166.7	100.0	147.2	△ 14.3	25.6	12.1	△ 10.4	△ 6.0	△ 13.3	700.0	△ 10.2	3.8	10.7	△ 8.7	△ 5.9	△ 5.9	△ 0.3	30.8	△ 4.8	△ 15.4	300.0	△ 2.4	1.5	2.1
H29	45,528	1,131	3,431		7,571	11,002	57,661	7,864	27	10	36	77	1,275	9,289	5,801	134	30	1	5,966	686	28	450	743	507	2,501	117	2,014	136	1	7,183	22,438	30.8
前年比%	0.9	2.4	7.6		50.8	3.2	1.3	5.6	107.7	0.0	100.0	45.3	32.4	9.3	△ 6.1	10.7	△ 9.1	△ 66.7	△ 5.8	△ 5.0	3.7	3.2	△ 4.7	△ 3.6	3.6	0.0	△ 3.7	△ 2.2	0.0	△ 0.9	1.6	△ 0.0
H28	45,143	1,104	3,188	2,457	5,019	10,664	56,911	7,444	13	10	18	53	963	8,502	6,178	121	33	3	6,335	722	27	436	780	526	2,413	117	2,091	139	1	7,251	22,088	30.8
前年比%	△ 3.5	0.0	△ 1.4	△ 6.9	1.5	△ 1.4	△ 3.1	△ 2.1	116.7	△ 44.4	80.0	10.4	444.1	8.2	△ 3.4	△ 8.3	△ 8.3	200.0	△ 3.5	3.1	8.0	△ 13.5	△ 20.2	△ 14.1	△ 2.2	△ 14.6	3.7	△ 6.7	0.0	△ 4.5	0.3	2.3
H27	46,804	1,104	3,233	2,639	4,945	10,817	58,725	7,602	6	18	10	48	177	7,861	6,395	132	36	1	6,564	700	25	504	977	612	2,467	137	2,017	149	1	7,589	22,014	30.1

※1 29年度より民間へ委託（民間中間処理施設）

※2 資源化等を行う施設を経ずに直接再生業者等に搬入されたもの（上質古紙・大型スーパー等）

※3 廃食油・古布・小型電子機器・蛍光管等（28年度より刈草・家具等追加）

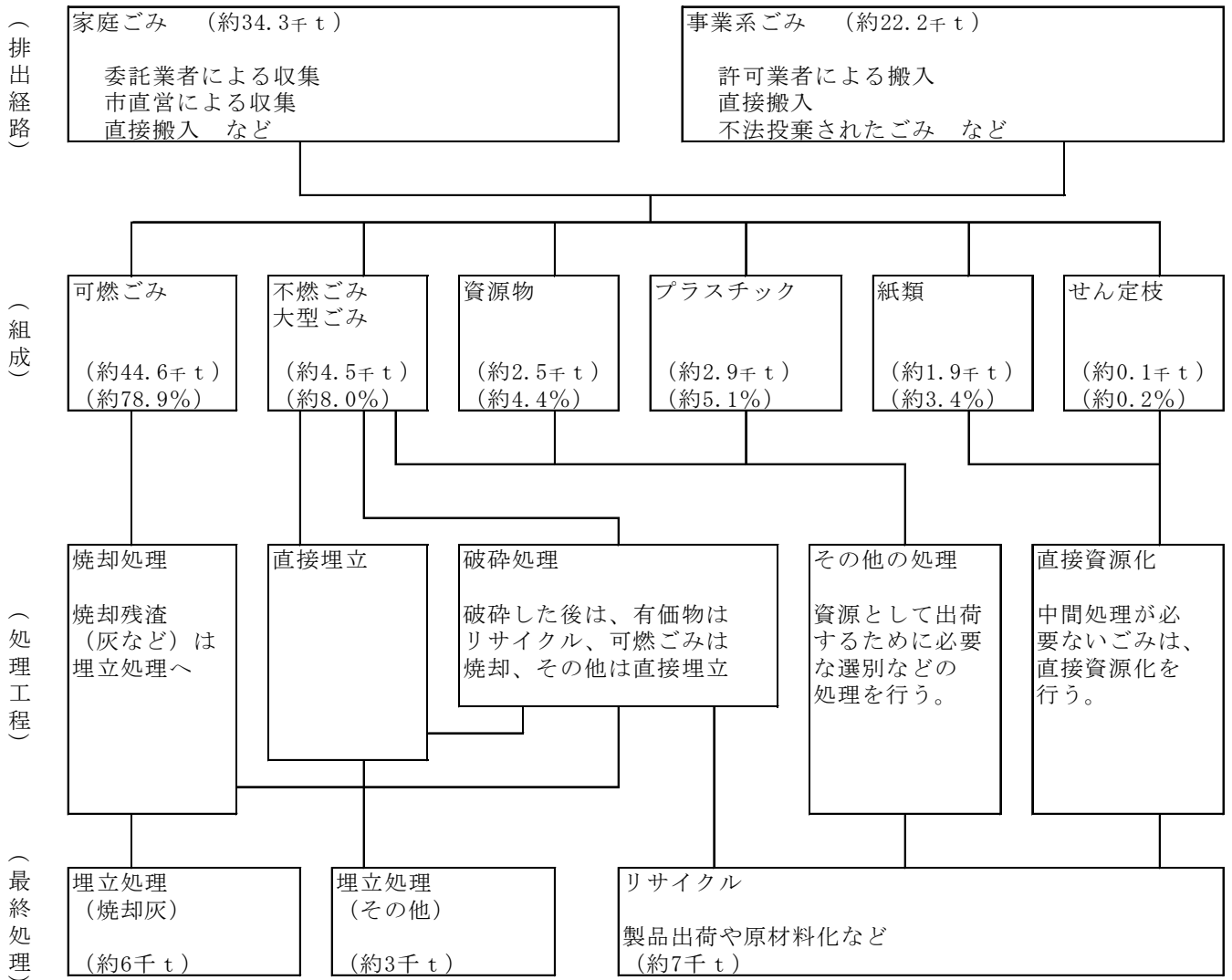
※4 ビールケース・鉄・バッテリー等

※5 29年度より、紙バック・金属類・びん類・ペットボトルを民間へ委託

※6 リサイクル率(%)=(直接資源化量+集団回収量+中間処理後再生利用量)÷(ごみ処理量+直接資源化量+集団回収量)×100

※7 苫小牧市分の災害ごみ含む

(3) 苫小牧市で発生した一般廃棄物の処理の流れ



3 苫小牧市の一般廃棄物の推移

(1) 年度ごとのごみ量

(単位：t)

家 庭 ご み							
年度	燃やせる ごみ	燃やせない ごみ	プラス チック	紙類	資源物	大型	計
H27	24,532	1,798	2,779	2,017	2,693	1,124	34,943
H28	23,706	1,699	2,790	2,091	2,504	1,148	33,938
H29	23,820	1,756	2,788	2,013	2,662	1,244	34,283
H30	23,656	1,800	2,823	1,917	2,435	1,266	33,897
R1	24,059	1,656	2,879	1,882	2,450	1,414	34,340

(単位：t)

事 業 系 ご み				
年度	燃やせる ごみ	燃やせない ごみ	その他	計
H27	22,272	1,230	280	23,782
H28	21,437	1,276	260	22,973
H29	21,708	1,294	376	23,378
H30	21,120	1,291	425	22,836
R1	20,547	1,135	472	22,153

(単位：t)

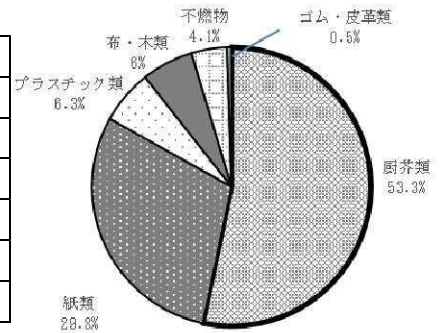
年度	合 計
H27	58,725
H28	56,911
H29	57,661
H30	56,733
R1	56,493

(2) 家庭ごみの組成分析

① 燃やせるごみ

(単位：%)

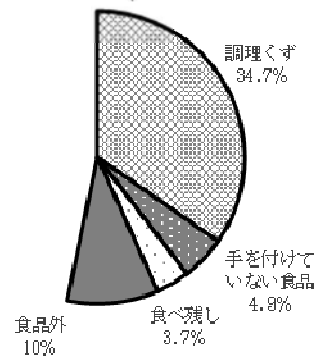
年 度	H27	H28	H29	H30	R1
厨芥類	52.4	51.8	47.7	42.1	53.3
紙類	30.0	29.8	24.8	34.6	29.8
布・木類	10.6	8.8	20.3	14.1	6.0
ゴム・皮革類	0.3	1.0	1.7	1.3	0.5
プラスチック類	5.8	4.4	3.3	4.9	6.3
不燃物	0.9	4.2	2.2	3.0	4.1



燃やせるごみのうち厨芥類 (53.3%) の内訳

(単位：%)

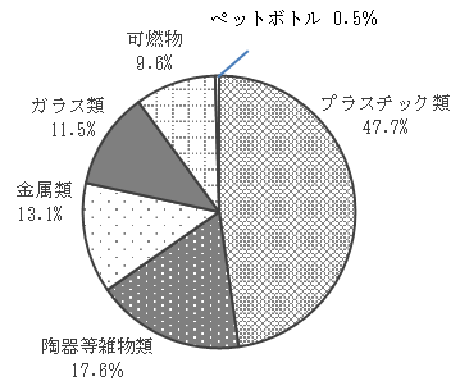
年 度	R1
調理くず	34.7
手を付けていない食品	4.9
食べ残し	3.7
食品外	10.0



② 燃やせないごみ

(単位：%)

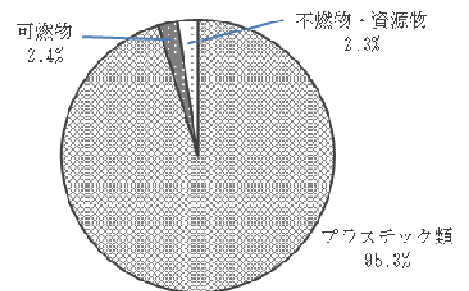
年 度	H27	H28	H29	H30	R1
陶器等雑物類	11.3	17.1	18.7	22.9	17.6
金属類	23.2	22.8	27.0	25.2	13.1
ガラス類	14.8	16.7	14.3	18.1	11.5
ペットボトル	0.0	0.2	0.0	0.0	0.5
プラスチック類	44.1	39.7	33.7	30.3	47.7
可燃物	6.6	3.5	6.3	3.5	9.6



③ プラスチック

(単位：%)

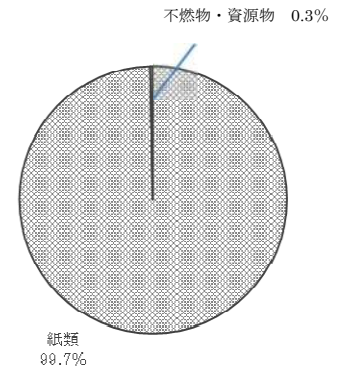
年 度	H27	H28	H29	H30	R1
プラスチック類	96.1	98.5	98.3	98.0	95.3
不燃物・資源物	1.6	0.3	1.1	1.1	2.3
可燃物	2.3	1.2	0.6	0.9	2.4



④ 紙類

(単位：%)

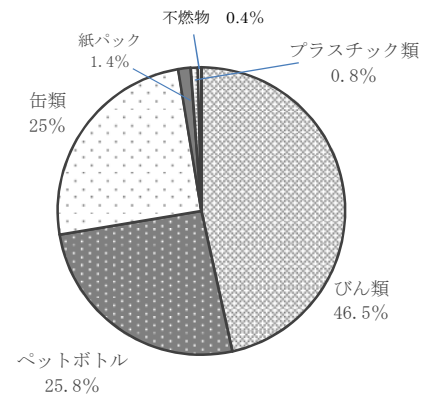
年 度	H27	H28	H29	H30	R 1
紙類	99.8	99.8	99.5	99.8	99.7
可燃物（紙類以外）	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
不燃物・資源物	0.2	0.1	0.5	0.1	0.3



⑤ 資源物

(単位：%)

年 度	H27	H28	H29	H30	R 1
ペットボトル	37.8	27.2	30.0	24.4	25.8
缶類	24.0	13.8	12.6	10.7	25.0
びん類	32.3	52.3	51.4	56.3	46.5
紙パック	1.4	1.9	0.6	1.2	1.4
不燃物	2.5	3.9	4.6	5.5	0.4
可燃物	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
プラスチック類	1.7	0.9	0.8	1.9	0.8



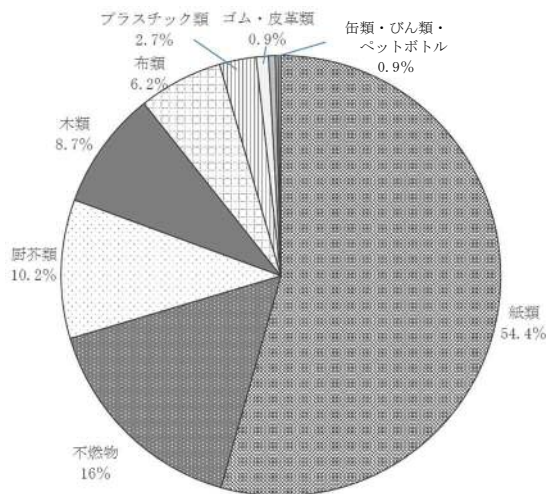
(※) 組成分析の調査方法

各年、市内の5地区を選定し、その地区のごみステーションから種別ごとに回収し、サンプリングを行う。

(3) 事業系一般廃棄物の組成分析

(単位：%)

年 度	H27	H28	H29	H30	R 1
厨芥類	15.5	15.5	22.6	17.6	10.2
紙類	44.7	54.3	48.0	49.5	54.4
布類	9.6	8.8	6.3	8.3	6.2
木類	9.7	2.7	5.3	7.8	8.7
ゴム・皮革類	1.2	1.6	0.9	1.5	0.9
缶類	0.2	0.3	0.4	0.2	0.2
びん類	0.4	0.3	0.5	0.4	0.2
ペットボトル	0.4	0.6	0.7	0.3	0.5
プラスチック類	16.0	13.7	13.8	13.0	2.7
不燃物	2.3	2.2	1.5	1.4	16.0



(※) 組成分析の調査方法

指定日に沼ノ端クリーンセンターへ搬入された事業系一般廃棄物の中から、100kg 程度回収し、サンプリングを行う。

4 令和元年度 沼ノ端クリーンセンター運転実績

(1) 月別運転状況 (焼却施設)

(単位：t)

	搬入量			焼却量			燃滓搬出量			燃滓率 (%)
	月計量 (A)	日数 (B)	日量 (A/B)	月計量 (A)	日数 (B)	日量 (A/B)	月計量 (A)	日数 (B)	日量 (A/B)	
4月	3,915.70	27	145.03	4,131.63	30	137.72	589.68	16	36.86	14.27
5月	4,151.21	27	153.75	3,802.90	31	122.67	500.51	17	29.44	13.16
6月	3,816.02	25	152.64	4,235.93	30	141.20	620.16	18	34.45	14.64
7月	4,395.16	27	162.78	4,418.65	27	163.65	687.46	22	31.25	15.56
8月	4,372.13	27	161.93	4,570.68	31	147.44	562.76	23	24.47	12.31
9月	3,983.86	25	159.35	4,544.40	25	181.78	577.69	22	26.26	12.71
10月	4,132.37	28	147.58	3,864.76	27	143.14	532.31	22	24.20	13.77
11月	3,689.87	26	141.92	4,456.35	30	148.55	528.78	26	20.34	11.87
12月	3,790.10	26	145.77	4,131.95	31	133.29	476.50	22	21.66	11.53
1月	3,685.52	25	147.42	3,838.69	31	123.83	451.70	22	20.53	11.77
2月	3,215.25	25	128.61	3,567.86	29	123.03	467.36	22	21.24	13.10
3月	3,680.27	26	141.55	3,834.46	31	123.69	456.07	23	19.83	11.89
合計	46,827.46	314	149.13	49,398.26	353	139.94	6,450.98	255	25.30	13.06
平均	3,902.29	26		4,116.52	29		537.58	21		

(2) 月別運転状況 (破碎施設)

(単位：t)

	搬入量			破碎量			搬出量					合計	※破碎不適物	※スクラップ (有価物)
	月計量 (A)	日数 (B)	日量 (A/B)	月計量 (A)	日数 (B)	日量 (A/B)	焼却対象ごみ量	※破碎不燃物	有価物回収量					
									鉄類	アルミ類	計			
4月	405.4	27	15.0	483.4	14	34.6	329.9	106.3	43.4	3.7	47.2	483.4	4.9	15.4
5月	463.0	27	17.2	594.6	16	37.2	371.5	164.6	54.5	4.0	58.5	594.6	10.5	16.2
6月	374.9	25	15.0	461.8	14	33.0	265.7	149.1	42.0	5.1	47.0	461.8	6.6	11.6
7月	356.8	27	13.2	408.0	13	31.4	233.7	132.9	37.9	3.6	41.4	408.0	7.1	12.2
8月	402.9	27	14.9	486.1	14	34.7	317.9	126.8	38.6	2.9	41.5	486.1	16.5	13.1
9月	420.3	25	16.8	489.9	15	32.7	309.6	137.5	39.5	3.3	42.8	489.9	12.3	12.5
10月	395.5	28	14.1	487.7	14	34.8	281.7	149.1	52.7	4.2	56.9	487.7	4.0	19.6
11月	370.2	26	14.2	392.2	11	35.7	262.6	96.6	30.3	2.7	33.0	392.2	5.6	15.1
12月	344.3	26	13.2	506.4	15	33.8	260.1	181.7	58.9	5.8	64.7	506.4	2.8	11.4
1月	289.1	25	11.6	336.8	12	28.1	183.2	117.4	32.0	4.2	36.2	336.8	2.4	8.1
2月	244.5	25	9.8	359.4	12	30.0	197.6	125.5	32.0	4.3	36.3	359.4	1.4	5.9
3月	360.9	26	13.9	446.6	12	37.2	304.8	114.0	25.3	2.5	27.8	446.6	3.9	13.9
合計	4,427.6	314	14.1	5,452.8	162	33.7	3,318.1	1,601.3	487.1	46.2	533.3	5,452.8	77.8	154.9
平均	369.0	26		454.4	14		276.5	133.4	40.6	3.9	44.4	454.4	6.5	12.9

(3) 月別埋立状況

	埋立処分量 (沼ノ端)						埋立処分量 (柏原) 不燃物
	焼却灰		脱水汚泥		合計		
	沼ノ端クリーンセンター						
	t	台	t	台	t	台	t
4月	589.68	84	10.35	2	600.03	86	223.76
5月	500.51	72	4.39	1	504.90	73	345.95
6月	620.16	89	6.48	1	626.64	90	348.44
7月	687.46	99	4.36	1	691.82	100	207.46
8月	562.76	80	0.00	0	562.76	80	224.00
9月	577.69	82	5.29	1	582.98	83	232.55
10月	532.31	76	4.03	1	536.34	77	278.90
11月	528.78	74	4.71	1	533.49	75	241.00
12月	476.50	68	0.00	0	476.50	68	197.50
1月	451.70	63	13.27	3	464.97	66	120.84
2月	467.36	64	7.80	1	475.16	65	132.70
3月	456.07	64	0.00	0	456.07	64	221.21
合計	6,450.98	915	60.68	12	6,511.66	927	2,774.31